

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科医師会

会 長 内 堀 典 保

平成30年度愛知県歯科医学大会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年6月には、サッカーワールドカップ ロシア大会が開催され、日本代表は決勝トーナメント1回戦でFIFA ランキング3位のベルギーにあわやというゲームを披露しました。また来秋ラグビーワールドカップが日本で開催され、豊田スタジアムも会場の一つとなり、日本代表の試合も行われます。さらに2020年には、東京で56年ぶりとなるオリンピックも開催されます。このようにスポーツの世界大会が盛り上がりを見せている中、愛知県歯科医師会といたしましても、スポーツを通して健康で長生きするための運動習慣と口腔の関係性の重要性を説き、歯科の存在価値を高めていきたいと考えています。また、厚生労働省老健局の公募事業として、東浦町の1万1,500人を対象に、オーラルフレイルに対する歯科的介入、トータルフレイルや全身の健康との相関関係のエビデンスを確立するための「歯科健診と事後フォローによる高齢者の自立支援と重症化予防への検証及び口腔機能の維持と栄養・運動を含めた総合プログラム検証事業」を行なっています。

さて、愛知県歯科医学大会は、歯科界では中部地区最大のイベントであります。今年度は『歯科医療の原点と将来を見据える～ライフステージに応じた口腔管理～』をテーマに、例年通り名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて開催いたします。また、第42回中部日本デンタルショーも併設されます。

日曜日の特別講演では、東京都杉並区で開業されている高橋英登先生に「保険収載されたメタルフリー臨床の極意～金パラからの脱却を目指して～」と題し、講演をさせていただきます。従来より用いられてきた、主たる歯冠修復材料の金パラに替わる材料として、ハイブリッドセラミックが広く臨床応用されつつある中で、保険収載されている小臼歯のCAD/CAM冠、下顎第一大臼歯のCAD/CAM冠、高強度硬質レジンプリッジのトラブルを発生させないような症例選択法、形成・接着操作におけるキーポイントをお話しさせていただきます。

また同じく日曜日午後には、第2ファッション展示場にて企画講演を行います。こちらは、新潟大学大学院医歯学総合研究科 准教授の齊藤一誠先生をお招きいたしました。「口腔機能発達不全症を有する小児の口腔管理を考える～「未成熟型咀嚼」、「口唇閉鎖不全」などへの取り組み～」と題し、お話しさせていただきます。平成30年4月より口腔機能発達不全に関する新病名の下、小児口腔機能管理加算が保険収載されました。そこで「口腔機能発達不全症」管理計画書の評価項目について解説いただき、理解を深めていただきたいと思います。

また、(一社)愛知県歯科技工士会ならびに(公社)愛知県歯科衛生士会の企画講演をはじめ、企業企画講演、各団体のワークショップ、デンタルファミリー余技総合展等、充実した内容となっております。

平成31年4月には愛知県では24年ぶりとなる第30回日本医学会総会が行われます。愛知県歯科医師会も携わっていますので、ぜひとも皆様のご参加をよろしく申し上げます。最後になりましたが、本大会の企画、準備、運営等にご尽力賜りました関係各位のご努力に対し、心より御礼申し上げますとともに、今後ともさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご 挨拶



(一社)愛知県歯科技工士会

会長 久野 富雄

この度、平成最後の愛知県歯科医学大会および第42回中部日本デンタルショーが開催されますこと(一社)愛知県歯科医師会、(公社)愛知県歯科衛生士会、東海歯科用品商協同組合をはじめ関係団体の皆様方と共に(一社)愛知県歯科技工士会も参加させて頂けますこと(一社)愛知県歯科技工士会を代表して関係各位の皆様方のご尽力に対して心より敬意を表すると共に感謝申し上げます。

私ども(一社)愛知県歯科技工士会も歯科医療人として参加させて頂き、歯科医療の技術更新、研究、開発、研鑽等を行なって行くことが使命であり、役割ではないかと確信しています。歯科技工士にとって歯科補綴物の製作を担当させて頂いていることは歯科治療において重要な役割であり、補綴物が口腔内において的確に機能し、患者さんの口腔機能回復に一役担わせて頂いていること。超高齢者の幸せな食生活の手助けをさせて頂けますことは大事な役目と責任を感じるところであります。この歯科医学大会ならびに中部日本デンタルショーを通じて新しい機材をはじめとし、歯科技術、技能の研鑽にも寄与できることの喜びを感じるものであります。昨今、あらゆる商品、農作物、食品等の生産者の見える化が重要視されてきています。歯科技術製作担当者の「見える化」を図るために愛知県歯科技工士会では会員証をストラップ化し、診療所を訪問させて頂いた際、患者さんの立会いを行なった際などにおいて担当した歯科技工士であることが明確となる様試みています。補綴物を製作している歯科技工士がはっきりして患者さんに安心して頂ければ幸いかと思っております。

今年度も愛知県歯科医学大会に参加させて頂き、愛知県歯科技工士会の企画講演では都築優治先生(Ray Dental Labor)に「Breathing vivid life into new creation」- 審美修復治療における IPS e.max system の活用 - のテーマにてご講演を頂きます。都築先生は昨年 QDT (Vol.43.5) Masterpiece に「自然美への挑戦」を掲載されています。ご覧頂けますと都築先生の卓越した歯科技術を感じ取って頂けるものと思えます。また、その他数々の出版発表、ご講演にとご活躍です。是非、聴講者の方々に先生の素晴らしい補綴物を御覧頂き、感動を共有して頂きたく思います。

歯科技工士会ブースにおきまして、2月16日(土)・17日(日)両日においてテーブルクリニックおよびポスター掲示を予定しています。尚この他にも ADTA トレーニングセンター受講生の努力の結晶である作品等も展示致します。是非とも沢山の方々のお越しをお待ちいたして居ります。

最後になりましたが、本大会を運営するに当たりご尽力されました関係各位の皆様方に御礼を申し上げますと共にこの大会を期に歯科医療界のステップアップを祈念して挨拶とさせて頂きます。

ご挨拶



(公社)愛知県歯科衛生士会
会長 長縄 弥生

平成30年度愛知県歯科医学大会および第42回中部デンタルショーが盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。また開催にあたりご尽力くださいました関係諸団体の皆様に感謝申し上げます。

2010年から急速に発展し続けている「AI（人工知能）」。これからの私たちの社会、暮らし、産業などはどのように変わっていくのでしょうか。アメリカの研究者から「消えていく職業」が紹介されたことは記憶に新しいと思います。当然のことながら医療・介護の場においてAIの活躍は期待されています。

さて本格的なAI時代が到来した時、歯科衛生士業務はどうなるのでしょうか。某テレビ局番組では「消える職種」のひとつに歯科衛生士が挙げられていましたが、本当にAIは歯科衛生士の代務ができるのでしょうか。なぜ歯科衛生士は「消える職種」とされたのか？

未だに世間一般での歯科衛生士業務は診療の介助であり、ロボットでも容易に代務ができると考えられているのでしょうか。

歯科衛生士は患者と向き合い、歯科衛生の視点で問題を判断し、口腔保健について支援をすることが本来の業務です。

さて現実では歯科衛生士の活躍の場が広がっています。歯科診療所のみならず地域の社会施設（病院 社会福祉施設 更生施設など）などで「食べる」ということを支える職種としてニーズが高まっています。そしてそこでは歯科衛生士養成課程では学ぶことがない最新の知識や技術が求められています。

「感染症」についても同じで、感染症、院内感染、パンデミックなど毎年のように感染症について報道され、それらへの新しい予防対策についての情報に敏感にならなくてはなりません。平成30年度診療報酬改定においても院内感染防止対策について見直しがされています。

こうした背景を踏まえて今回の愛知県歯科衛生士会企画講演では浜松医療センター副院長矢野邦夫先生をお招きし感染対策の重要なポイントについてお話いただきます。これまで標準とされていた感染対策が推奨されないなど変化していることも多々あります。一般診療と病院では感染対策システムに大きく差がありますが、その基本の考え方は同じです。国民皆保険では感染対策に限界もあるかとは思いますが、安全な歯科医療提供のために現在の感染対策が万全なのかを考える機会になればと思います。

最後になりますが、2019年9月14日～16日ウインクあいち（愛知県産業労働センター）で日本歯科衛生学会第14回学術大会が開催されます。この機会に多くの歯科衛生士の皆さんが学会に参加し研鑽されることを期待します。

ご 挨拶



東海歯科用品商協同組合理事長
中部日本デンタルショー実行委員長

川 端 憲 二

第42回中部日本デンタルショーの開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

「中部日本デンタルショー」がこの長きに亘り開催を続ける事ができましたのも、偏に業界関係者各位の多大なるご支援ご協力があればこそと、改めまして御礼申し上げます。

例年通り愛知県歯科医学大会との併設として吹上ホールで開催します当デンタルショーは、「歯科医療の原点と将来を見据える～ライフステージに応じた口腔管理」をテーマに、時流に即した講演や最新器材の展示を行います。また、滅菌・外来環・CAD-CAMに関連する器材を一堂に会し、ニーズに沿った展示も計画致しております。

また、自然界に目を向けましても、7月の豪雨では（今までに経験の無い）山崩れ・河川の氾濫、九州・中国・四国・近畿・東海地区と広範囲にわたり災害が発生しました。被害に遭われました皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。

デンタルファミリーの歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士と私共東海歯科用品商協同組合が手を携え、信頼・信用で地域住民の皆様方の口腔内医療を担って参ります。

「会話を大切に、触れ合いを大切に」の基本理念のもと、笑顔に輝く健康な「歯」を守るお手伝いとして、世界中からの最新器材を展示する中部日本デンタルショーへ、是非ともお越しく下さいませようお願い申し上げます。

私共東海歯科用品商協同組合は、対面販売を実行しております。ひいては、これが安定・安全な器材供給につながるものと確信しております。

今後とも、東海歯科用品商協同組合の活動・事業にご理解ご協力を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

末筆となりましたが、当組合ならびに中部日本デンタルショーに多大なるご指導ご協力を賜りました（一社）愛知県歯科医師会、（一社）愛知県歯科技工士会、（公社）愛知県歯科衛生士会、ならびに出展企業およびすべての関係各位に、心から厚く御礼申し上げますと共に、各位の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

多数の皆様のご来場を心よりお待ちしております。